国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表資料

令和元年　６月１１日
福島河川国道事務所

高校生が相馬福島道路の工事現場を体験します。
～建設業界の役割や魅力を伝えることを目的に現場見学会～

東北中央自動車道（相馬福島道路　霊山～福島）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、令和2年度の一部開通を目指して、事業を進めているところです。
このたび、県内の高校生約100名が、相馬福島道路の工事現場を見学し、土木工事の最前線を体験します。
この見学会は、（一社）福島県建設業協会が主催の建設工事現場見学事業で、平成2年度から県内の高校生等を対象に実施しているものです。
見学会を通して、高校生の皆さんに相馬福島道路の役割を理解していただくとともに、建設業の役割や土木工事の魅力に直接触れていただきたいと考えています。

１．日　時
＜第１回＞令和元年 6月12日（水）　10:50～14:20程度（県立喜多方桐桜高校 33名）今回実施
＜第２回＞令和元年 9月19日（木）　時間未定（県立福島明成高校 40名）
＜第３回＞令和元年10月16日（水）　時間未定（県立二本松工業高校 40名）

２．概　要
東北中央自動車道（相馬福島道路）の工事現場にて、工事中でなければ見ることの出来ない土木工事の施工状況を見学していただきます。
見学会は全３回を予定しており、第１回は“（仮）富沢トンネル”、“（仮）東根川橋”、“（仮）桑折高架橋”で開催します。

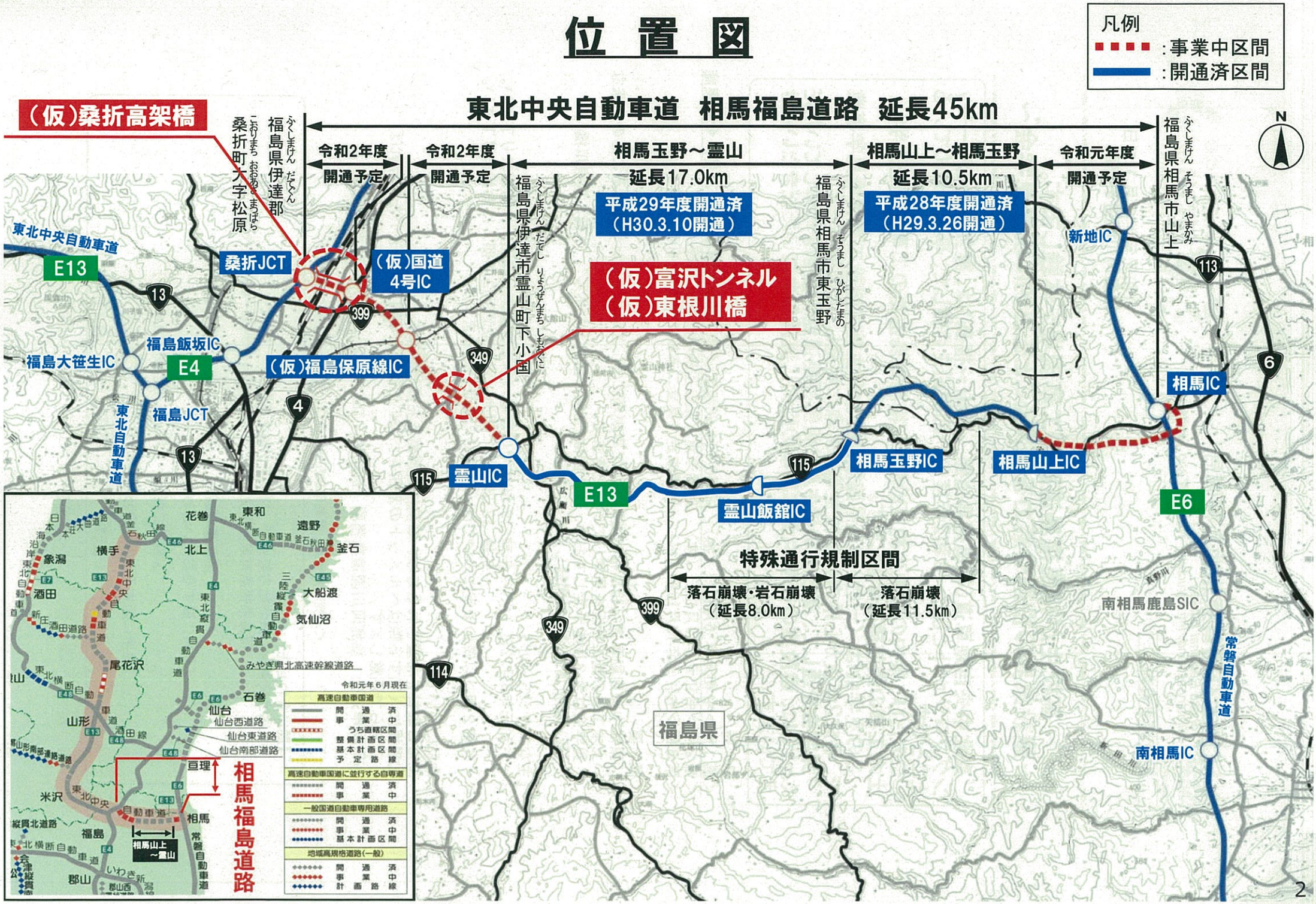
【主なスケジュール】
・令和元年6月12日（水）　午前 10:50までに現地（別添位置図①参照）にお集まり下さい。
午後 13:20までに現地（別添位置図②参照）にお集まり下さい。
・＜第２回＞以降の予定については、別途お知らせいたします。

３．取材について
①当日取材を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。
②現場に入場する際はヘルメットの着用をお願いします。事前に連絡をいただければこちらで用意します。
※取材申込先：福島河川国道事務所　計画課　TEL 024－546－4331（代表）

＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ＞＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36　TEL 024－546－4331（代表）
副所長（品確）　種市（たねいち）　優（まさる）　（内２０６）
【事業に関するお問い合わせ】
工務第二課長　黒沼（くろぬま）　正敏（まさとし）（内４１１）
【見学に関するお問い合わせ】
計画課長　下田（しもだ）　一朗（いちろう）（内２６１）

位置図


凡例
:事業中区間
:開通済区間
東北中央自動車道　相馬福島道路　延長45km
(仮)桑折高架橋
福島県伊達郡桑折町大字松原
令和2年度開通予定
令和2年度開通予定
相馬玉野～霊山
延長17.0km
平成29年度開通済
(H30.3.10開通)
相馬山上～相馬玉野
延長10.5km
平成28年度開通済
(H29.3.26開通)
令和元年度開通予定
福島県相馬市山上
N
東北中央自動車道
E13
桑折JCT
(仮)国道4号IC
(仮)富沢トンネル
(仮)東根川橋
福島県伊達市霊山町下小国
福島県相馬市東玉野
新地IC
福島飯坂IC
福島大笹生IC
E4
(仮)福島保原線IC
福島JCT
東北自動車道
霊山IC
E13
霊山飯舘IC
相馬玉野IC
相馬山上IC
相馬IC
E6
特殊通行規制区間
落石崩壊・岩石崩壊
(延長8.0km)
落石崩壊
(延長11.5km)
南相馬鹿島SIC
常磐自動車道
南相馬IC
福島県
相馬福島道路
令和元年6月現在
高速自動車国道
開通済
事業中
うち直轄区間
整備計画区間
基本計画区間
予定路線
高速自動車国道に並行する自専道
開通済
事業中
一般国道自動車専用道路
開通済
事業中
基本計画区間
地域高規格道路(一般)
開通済
事業中
計画路線
花巻
東和
遠野
釜石
北上
横手
象潟
酒田
大船渡
気仙沼
尾花沢
みやぎ県北高速幹線道路
石巻
仙台
仙台西道路
仙台東道路
仙台南部道路
山形
亘理
米沢
福島
相馬
相馬山上～霊山
郡山
いわき新
常磐自動車道

◇ 見学会日時：6月12日(水)，10時50分

位置図①



【見学・集合場所】福島県伊達市保原町富沢　地内
※取材は事前申し込みお願いします。
※県道山口保原線から先は誘導員が誘導します。





（仮）福島保原線IC
阿武隈急行
相馬福島道路（国土交通省）
県道山口保原線
（仮）東根川橋
（仮）富沢トンネル
至　保原駅
至　国道115号
至　相馬市

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号平30東複第23号】

位置図②

◇ 見学会日時:6月12日(水),13時20分

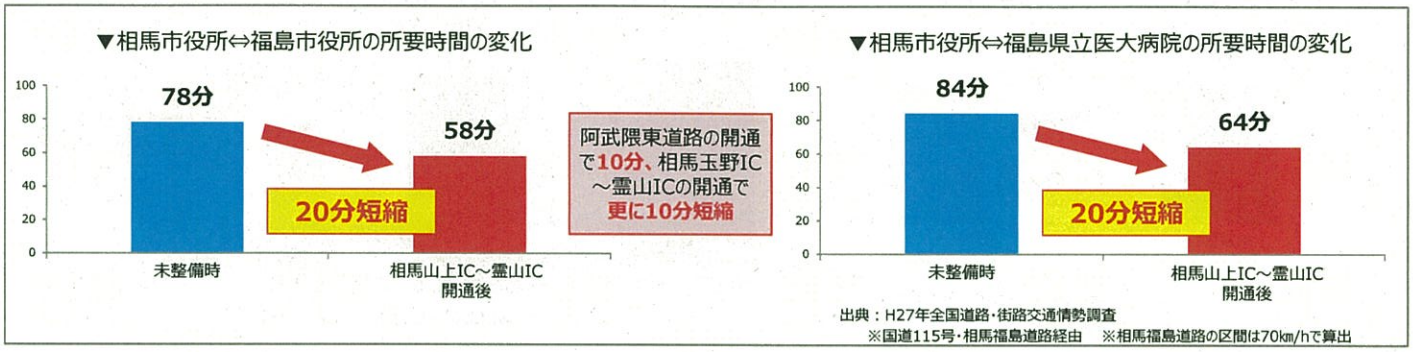


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号平30東複第23号】

－相馬～福島間の所要時間が短縮－

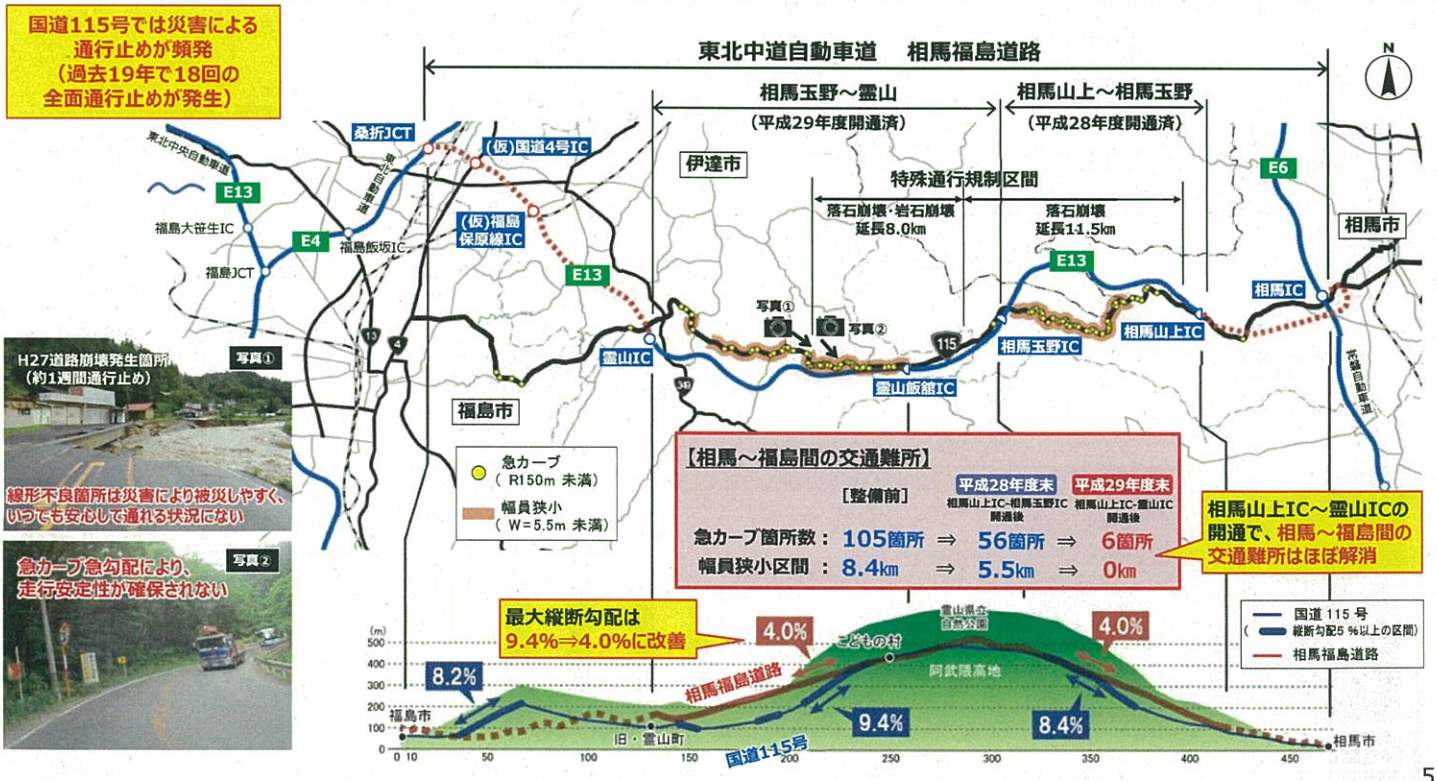
◆相馬福島道路（相馬山上IC～霊山IC）の開通により、相馬市～福島市間の所要時間は未整備時より20分短縮
◆救急搬送の速達性確保のほか、観光交流・企業活動の活性化を支援





効果１：相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

◆相馬～福島間を結ぶ国道115号は、急カーブや急勾配区間が連続し、災害等で通行止めが頻発
◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、急カーブや急勾配、事前通行規制区間等の交通難所はほぼ回避できるようになり、相馬～福島間の安全、安心な通行を確保



効果２：救急搬送の速達性・安定性を確保

◆相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
◆国道115号は線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の患者への負担が大きい等の課題を指摘
◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、相馬市役所～福島県立医大病院間の所要時間は未整備時より20分短縮されるとともに、安定走行が可能となり、搬送時の患者への負担が軽減



【相馬消防署の声】
国道115号は**急カーブや急勾配等の区間が多くあり、緊急車両も安定した走行が出来ず患者に負担を掛けている。**



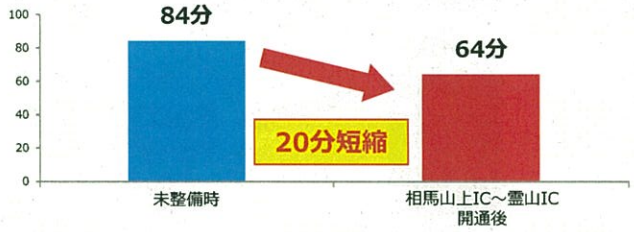
▼第三次救急医療施設への搬送割合（H21～H29）

沿岸３市町から第三次救急医療施設への搬送件数（H21～H29）

全搬送件数：1,047件/９年	
うち、福島方面	800件（76%）
うち、仙台方面	201件（19%）
うち、いわき方面	39件（4%）

出典：相馬地方広域消防本部ヒアリング

▼相馬市⇔福島県立医大病院間（国道115号・相馬福島道路経由）の所要時間



出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
※所要時間は相馬市役所～福島県立医大病院間で算出
相馬福島道路の区間は70km/hで算出



【相馬山上IC～霊山IC間　救急搬送状況】

効果３：交流人口の増加、活発な観光交流に期待

◆東北中央道（福島～米沢）開通後、福島市や米沢市内の観光施設において来訪者が増加（約1.4～2倍増）
◆H30.3.24に開業した道の駅「伊達の郷りょうぜん」が開業後約４ヶ月で来場者７０万人を達成、新たな観光・交流拠点の場を形成
◆相馬～福島間の整備により新たな広域ネットワークが形成され、更なる交流人口の増加と活発な観光交流に期待

▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルートの形成イメージ



出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査、東北中央道の区間は70km/h、相馬福島道路の区間は80km/hで算出

■飯坂温泉（福島市）

▼山形方面からの来訪者数の変化



出典：「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
※「混雑統計」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが統計的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

道路開通に合わせた地域連携で山形方面からの観光客が増加

道路開通で地域連携



出典：平成29年11月8日　福島民報

■道の駅 伊達の郷りょうぜん（伊達市）



平成30年3月24日 入込状況

主な施設：産直、レストラン、道路情報提供施設　等
敷地面積：約14,400㎡　駐車台数：97台

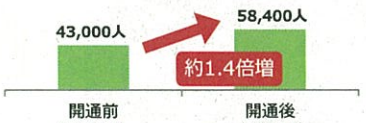
▼道の駅「伊達の郷りょうぜん」来場者数推移（累計）



出典：伊達市

■上杉城史苑（米沢市）

▼観光入込客数の変化



出典：上杉城史苑

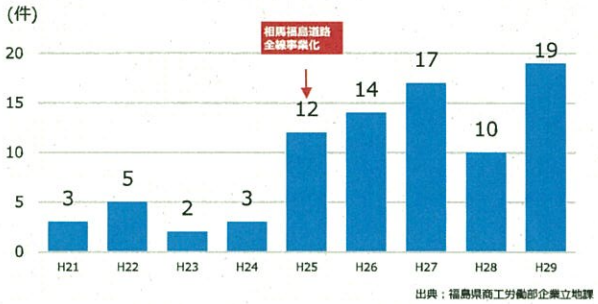
効果４：物流効率化で企業活動を支援

○東日本大震災において甚大な被害が生じた福島県相双地域において近年工場の新設等の企業の進出が顕著であり、中でも相馬福島道路の整備により内陸部へのアクセス性が強化される相馬港背後圏への企業立地が促進されています。
○港湾と高速道路ネットワークのアクセス強化により、物流の効率化が図られるとともに被災地の産業復興を支援します。

▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況



▼相双地域における工場新増設件数



出典：福島県商工労働部企業立地課

相馬港に進出した鉄鋼加工メーカー(H30.6操業開始)の輸送効率化の事例

▼相馬港進出による輸送効率化

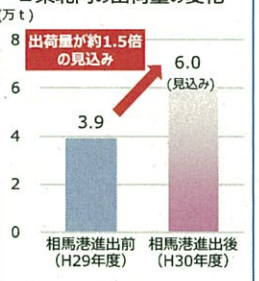


■高速道路を利用したアクセスが優れることから営業拠点を設けていない山形県等も含め営業エリアの拡大も見据えることができるため**相馬港に進出**しました。

▼相馬福島道路利用による輸送効率化



■東北内の出荷量の変化



■相馬港への進出及び相馬福島道路の利用によって、木更津港富津地区からの輸送に比べ**輸送効率が格段に向上**し、東北エリアへの陸送費は**約1.5億円/年のコストダウンと1.5倍の出荷量の増加**が見込まれます。

参考

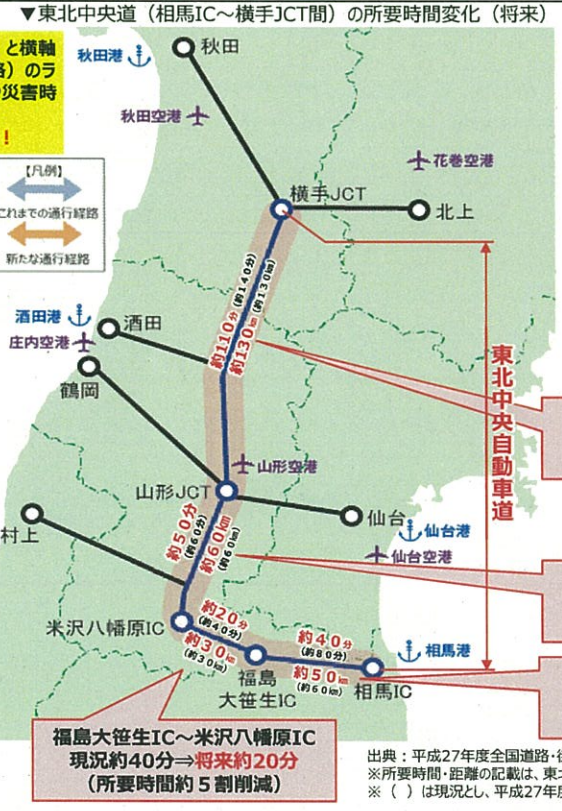
－東北地方の広域的な道路ネットワークが形成－

■東北中央道の開通により、広域的な通行経路の選択が可能となり、悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保
■相馬IC～横手JCT間における所要時間は約１００分（約３割）短縮

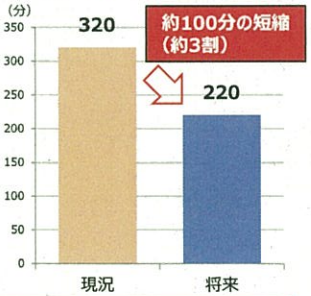
▼高規格ネットワーク図



▼東北中央道（相馬IC～横手JCT間）の所要時間変化（将来）



▼東北中央自動車道における起終点間の所要時間
【相馬IC～横手JCT間】



山形JCT～横手JCT
現況約140分⇒将来約110分
（所要時間約２割削減）

米沢八幡原IC～山形JCT
現況約60分⇒将来約50分
（所要時間約２割削減）

相馬IC～福島大笹生IC
現況約80分⇒将来約40分
（所要時間約５割削減）

福島大笹生IC～米沢八幡原IC
現況約40分⇒将来約20分
（所要時間約５割削減）

出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査　昼間非混雑時旅行速度
※所要時間・距離の記載は、東北中央自動車道開通後の所要時間にて算出
※（ ）は現況とし、平成27年度時点の並行路線等の所要時間・距離を記載